

第8回木津川市水道料金及び公共下水道使用料審議会 会議録

○日 時：平成29年3月28日 午前10時～午前11時

○場 所：上下水道部 2階 第1会議室

○出席者：新川達郎会長、伊森雅史委員、岩瀬充委員、福井博敏委員、壹岐茂美委員、
井上靖委員、角井正幸委員、松本也寿子委員、舛井恵子委員、平田克子委員、
岡野慶三委員、大村裕信委員、福田清志委員、
赤石賢彦課長代理（タツタ電線（株））、池尻事務局長（上下水道部長）、
下水道課（三宅課長、木下主幹、桃井係長）、水道工務課（小川課長）、
水道業務課（森本課長、長岡係長、岡本主査、宮崎主査）

○欠席者：武田治副会長、宝壁宣之委員

○傍聴人：なし

1 開会

【池尻事務局長】挨拶

【新川会長】それでは、改めまして、おはようございます。今日は、第8回木津川市水道料金及び公共下水道使用料審議会ということで年度末にお集まりいただき、ありがとうございました。これまで大変熱心にご審議いただき、前回ほぼご了解いただける内容まで取りまとめできました。前回のご意見、その後少しお寄せいただいたご意見も踏まえて、最終案を事務局で整えていただきました。本日、皆様にご確認いただき、所要の修正等を加えて、答申の運びとしたいので、しっかりとご審議いただきたいと思います。

2 答申案の修正について

【新川会長】早速ですが、それでは、答申案の修正について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

□各委員に文面を確認していただくため、答申案全体を朗読した。

□答申案中、水道に関する修正部分を説明した。

【事務局】

□答申案中、下水道に関する修正部分を説明した。

【新川会長】只今、上水道・下水道について、修正点をご説明いただきました。各委員からご質問やご意見をいただきたいと思います。

【委員】答申案の中で「経営面では効率性を發揮していく時期が到来している。」となっていますが、今まで効率性を求めていますので、「今まで以上に効率性を高める」という表現の方がいいと思います。それと、下水道使用料の（2）で何が言いたいのか分かりにくいです。「下水道使用料が減少傾向にある。」ということと「積極的に広報活動を行うこと。」をどう結びつけているのか分かりません。皆さんはどう思われているのでしょうか。

【新川会長】ありがとうございました。今の点に関して、事務局から何かありますか。

【事務局】下水道使用料に関して記載いたしました趣旨は、下水道事業は使用料で賄って

いかなければなりませんが、そのためには普及率・水洗化率を拡大し、使用料収入を増やさなければならないということです。

【新川会長】いかがでしょうか。只今の下水道の趣旨は、今後、下水道使用料の伸びる可能性が小さくて、収益構造がよろしくない現状があるので、そういう下水道使用料の問題を市民に知っていただくということが出発点であり、広報活動を行うという趣旨でご説明いただいたと思います。その他、いかがでしょうか。

【委員】書き方だけの問題ですが、「水道料金のあり方について」の1行下に、「料金改定をしない」という結論を先に書いてもいいのではないかと思います。その方が分かりやすいのではないかと思います。その他は、議論してきた内容が十分に含まれていますので、参考資料をどのように次の答申に引き継ぐのかが問題だと思います。それと前回、下水の引込率か合併処理浄化槽の割合について質問がありましたので、教えていただけないでしょうか。

【新川会長】下水道課、お願ひします。

【事務局】前回、浄化槽区域の割合がいくらくらいかという質問をいただきました。その後、平成27年度末の数値を確認させていただきましたところ、木津川市的人口約74,000人に対して、浄化槽で計画している区域内の人口が約1,300人ですので、約1.7%となります。

【新川会長】その他、いかがでしょうか。それでは、特にご意見がないようでしたら、最初の部分（今まで以上に効率性を高める）と「料金の現状維持」の表現などをどうするかという整理について、私と事務局で相談させていただいて、改めて修正案をお示しさせていただきます。同様に、下水道使用料のあり方の（2）のところについても、市民の皆さんに何をご理解いただくのかということを明確にする必要がありますので、事務局と相談させていただきます。この点についても修正案を確認していただき最終答申にしたいと思いますので、よろしくお願ひします。

3 閉会

【新川会長】2年近く上下水道の諸問題について熱心にご議論いただき、ありがとうございました。もう8回も審議をいたしました。皆様方には、長い間、毎回しっかりとご議論に加わっていただき、大変感謝しております。市民生活の基礎・基盤をどう守っていくのか、水や環境の質をどう高めるのか、各委員から積極的にご意見をいただきました。そうした水のあり方を将来にわたって維持できるように、さまざまなご意見をいただきました。水道については一定程度、持続可能性が見込めるということになりました。下水道については脆弱な経営状況ですが、問題点をまだ解明する必要があります。上下水道とも料金は現状維持という結論ですが、それぞれ違った趣旨で今後、しっかりと経営状況を見極め、期間を置いた後で検証していただくことで答申をしたいと思います。委員の皆様には重ねてお礼を申し上げます。なお、答申書につきましては、年度明けのできるだけ早い段階で市長へ提出したいと思います。

□新川会長、池尻事務局長の挨拶をもって、審議会を閉会した。